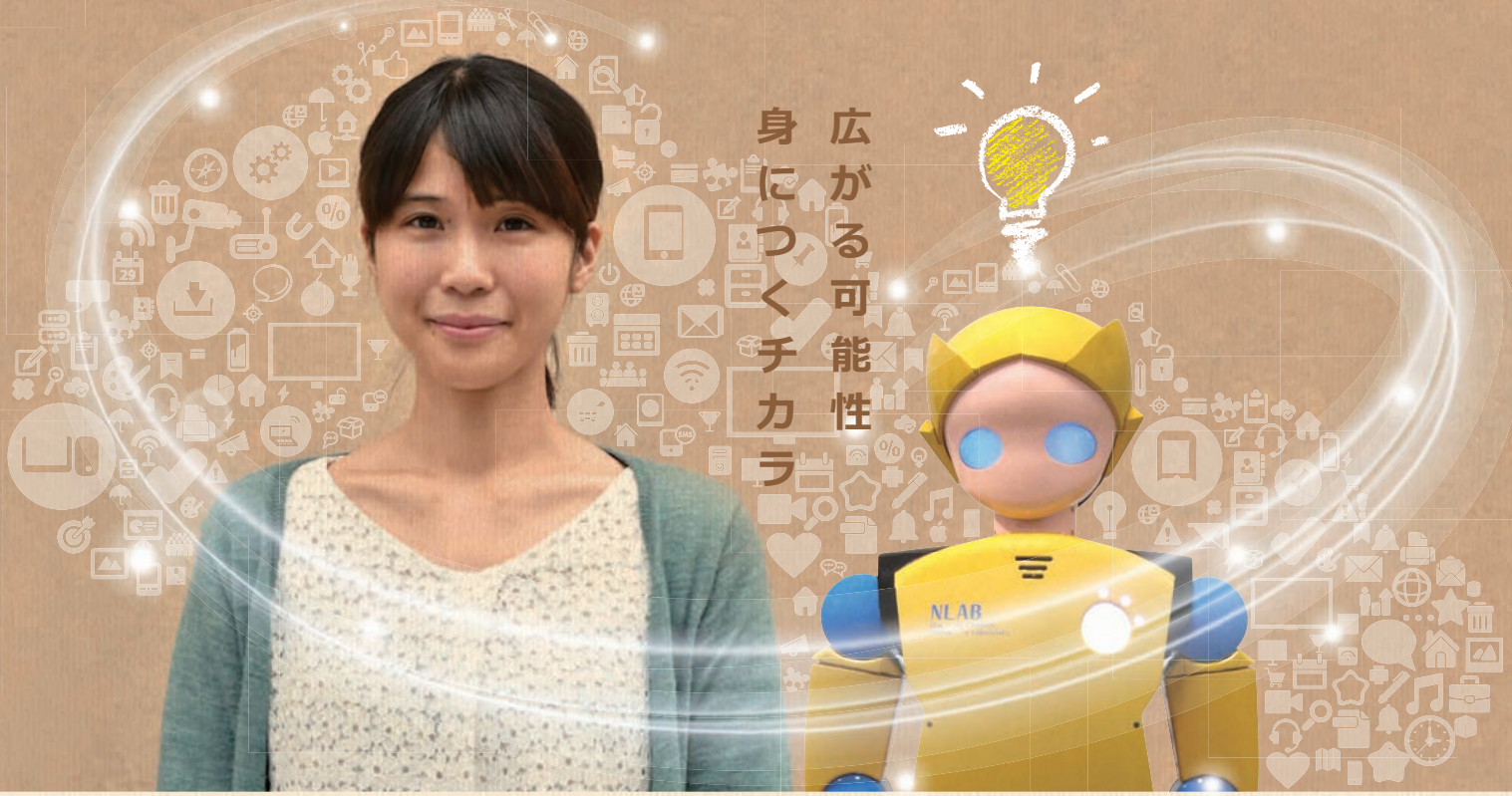
長岡技術科学大学の起業支援プログラム

未踏領域・未踏分野に挑戦する、タフなグローバル技術者を育てます



学長メッセージ

長岡技術科学大学は、建学の理念である“技学（技術科学）”に基づき、開学当初から産学連携活動やベンチャー企業創出に積極的に取り組んでいます。最近は、起業セミナーやベンチャーサロンの開催、平成２７年度に設置した大学院技術科学イノベーション専攻における起業に関する科目等を取り入れた教育プログラムを進めています。また、「技大 × ブシロード × 新日本プロレス × 長岡市」等、若者の起業意識を醸成する各種イベントも積極的に開催していきます。

ジェームズ・ダイソンアワード

次世代のデザインエンジニアを称え、支援し、育成するための国際デザインエンジニアリングアワード。
２０１７年には、国際トップ２０に本学学生が選出されました。

パテントコンテスト*

JBMC新潟ラウンド

ビジネスモデルの立案と仮設検証に重点を置くコンペ。
２０１６年には、本学学生が全国大会（東京）へ進出しました。

JBMC：Japan Business Model Competition

VOS起業特集表紙

ベンチャーサロン*

起業セミナー*

pioneers Asia

事業アイデアを９０分でプレゼンするコンペ。世界の上位２００内に本学・高専チームから５件選ばれました。

*については、パンフレットP3の「起業支援プログラム一覧」を参照ください。

長岡技術科学大学の起業支援スキーム

起業セミナー

教員
学生
研究成果
事業アイディア

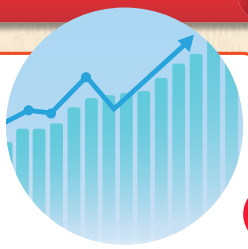
大学発
ベンチャー
事業戦略

セミ・クローズド方式での
相談・アドバイス
（ベンチャーサロン）

本学産学連携関係者の他、秘密保持契約を結んだ上で、ベンチャーキャピタル、銀行、行政機関など外部の方も参加。

練り直し

大学ファンド
（検討中）
による支援



起　業

権利化

事業戦略
の見直し

研究成果
の社会的
還元
事業化に
よる地域
活性化

ベンチャーキャピタル、銀行、行政機関等による支援。

※赤枠が現在、長岡技大で取り組んでいるもの

本学の起業支援制度については、起業セミナーでまず、起業・事業化に関心を持ってもらうことから始まります。関心を持った方には、次にベンチャーサロンで相談する機会を提供し、ベンチャーキャピタル、銀行、行政機関等と連携しながら、研究成果の社会的還元、事業化による地域活性化を支援しています。

NTICのご紹介

テクノインキュベーションセンター（NTIC）

研究成果・開発技術
・サービスの社会実装

大学発ベンチャーの起業

国内外の
連携大学・高専

産学連携支援組織、
協議会等

官庁機関

・技術開発センタープロジェクト
・共同研究
・寄付金
・技術相談

・NTIC の入居施設
・ベンチャー資金への獲得支援
・ベンチャーサロン
・知財教育・パテントコンテスト
・起業セミナー

ベンチャーキャピタル
新潟ベンチャーキャピタル㈱
日本戦略投資㈱など

金融機関
大光銀行、第四銀行、
北越銀行、日本政策金融公庫

産学連携支援組織、
協議会等

NTICのCD・教員・大光銀行テクニカルアドバイザー
先ずは TEL.0258-46-6038 にお電話を！

こんな技術課題がある！　こんな産業育成をしたい！　アイデア・シーズがある！起業はどうやればできる？

［産業界］［地方公共団体］［学生・教職員］［地域の起業志望者］

長岡技術科学大学テクノインキュベーションセンター（NTIC）は、本学の持つ知的資産を地域社会や産業界等に適切かつ効果的に還元することにより、企業等の新技術開発の促進及び新産業の創出に資することを目的に設置されています。本センターは、本学の持つ技術シーズを地域社会や産業界等に適切かつ効果的に還元することにより、企業等の新技術開発の促進及び新産業の創生に資することを目的としております。Services（世のための奉仕）を全面に打ち出し、産業界の皆様のパートナーとして活動してまいります。

長岡技術科学大学の起業支援プログラム一覧

プログラム名称	説　　明
1 **ベンチャーサロン**	既に起業した大学発ベンチャーや、起業を考えている教職員・学生が、日本の代表的ベンチャーキャピタリストである佐々木社長率いる日本戦略投資株式会社、新潟県の事業家が中心となって組成した新潟ベンチャーキャピタル株式会社、創業支援の日本政策金融公庫ほか地元の金融機関等の専門家を相手にビジネスプランや事業モデルをプレゼンし、アドバイスを受けたりしながら鍛えられる場。参加者は守秘義務が課せられる。年4回開催。
2 **起業セミナー**	実際に起業した大学発ベンチャー或いはベンチャーの社長や、それをサポートするベンチャーキャピタリスト等から、本音ベースの起業体験、サポートについて語ってもらい、起業のワクワク感や大変さ、その大変さを乗り越えた面白さを赤裸々に語ってもらい、起業するということがどういうことか理解してもらう場。年2回開催。
3 **ベンチャー資金の獲得支援**	ベンチャーキャピタルである日本戦略投資株式会社及び新潟ベンチャーキャピタル株式会社、また第四銀行、北越銀行、大光銀行、日本政策金融公庫と言った地元の金融機関とも連携協定を締結しており、一定の基準や条件を満たせば、大学の研究成果を事業化する際に必要な資金を投資や融資という形で提供してもらえる体制を取っている。
4 **知財教育とパテントコンテスト**	本学では知的財産教育を重視しており、学部では「技術開発と知的財産権」、大学院では「特許法」を開講している。これらの講義を通じて特許制度などの知的財産に関する知識を得るとともに、特許明細書の書き方など実践的なスキルを磨くことを主な目的に、2017年度には技大生パテントコンテストを開催し、20名近い応募者があった。
5 **NTICの入居施設**（キャンパスインキュベーションブース）	本学テクノインキュベーションセンター（NTIC）は、起業支援も重要な目的としており、キャンパスインキュベーションブースの供与もその一つである。ブースは本学総合研究棟7階に4区画（1区画7.3㎡）設けてあり、本学における教育・研究成果を活用して起業を志す者や起業後間もないベンチャー企業がNTICの実施する起業化指導、経営・技術指導その他の支援を受けながら利用されている。

主な本学発ベンチャー企業のご紹介

株式会社 FUCO
■設　　立:2006年8月
■事業分野:教育事業、システム・サービス事業

株式会社 ロレムイプサム
■設　　立:2011年6月
■事業分野:クラウドコンピューティング及び情報セキュリティ

長岡パワーエレクトロニクス株式会社
■設　　立:2013年4月
■事業分野:電機製造業

株式会社 オフダイアゴナル
■設　　立:2015年11月
■事業分野:電子部品・デバイス・電子回路製造業

株式会社 ＴＯＦＦＥＥ
■設　　立:2016年4月
■事業分野:感性計測装置販売、感性商品共同開発、ニューロマーケティング事業コンサルティング

長岡モーターディベロップメント株式会社
■設　　立:2016年8月
■事業分野:電気機械器具製造業

株式会社 サンマリオン
■設　　立:2016年3月
■事業分野:集光追尾太陽電池の開発製造販売

株式会社 Cubo Rex
■設　　立:2016年3月
■事業分野:移動及び輸送用機器、ロボットの製造・販売

株式会社ナノテム
■設　　立:1998年4月
■事業分野:製造業（多孔質セラミックス）

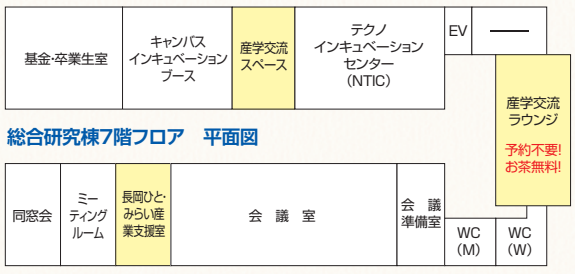
時田CVDシステムズ株式会社
■設　　立:2002年5月
■事業分野:半導体製造装置部品、FPD製造装置部品及び分析機器部品のイットリアコート

長岡技術科学大学の産学連携・起業支援プログラムの歩み

	本学の動き		日本と世界
1976	産学連携を特色とした新構想大学として 長岡技術科学大学建学		
		1980	政府資金の研究成果の民間移転促進を目的として、 アメリカでバイドール（Bayh-Dole）法成立
1981	国立大学初の産学協同研究組織として技術開発センター設置 ●民間企業と共同研究契約、秘密保持契約を締結 ●大学、企業双方ら研究者が参加 ●本学学生も研究プロジェクトに参加 ●期間は概ね3年 ●制度創設以来188件の共同研究を実施		
		1983	文部省、国立大学と企業との共同研究制度として、 共同研究規則制定
		1984	山形大学等に共同研究センター設置
		1995	科学技術基本法成立、科学技術の振興に関する施策を 総合的かつ計画的に推進 第一期科学技術基本計画
1998	本学発のものづくりベンチャーとして、本学教員が中心 となり「ナノテム」創業	1998	大学等技術移転促進法（TLO法）法成立 TLO（技術移転機関）の整備促進
		1999	産業競争力強化法（日本版バイドール法）成立
2002	NUTテクノインキュベーションセンター（NTIC）設立 時田CVDシステムズ創業	2002	知的財産基本法成立、大学は人材の育成、研究、その成 果の普及に自主的かつ積極的に努めることを明文化
2003	インキュベーションブースに第１号入居者 （平成29年度までに延べ15社が入居）		
2004	第一回 起業セミナー実施	2004	国立大学法人化
		2006	教育基本法改正、大学の役割として「社会貢献（産学官 連携等）」を明文化
2012	イノベーション創出のため、高専、豊橋技大と協力して 三機関事業開始 第一回 知的財産セミナー実施	2012	文科省、大学発新産業創出拠点プロジェクト（START） 開始
2014	スーパーグローバル大学に選定され、産学官融合キャン パスをグローバルな規模で展開するスキームとして技学 テクノパークネットワーク構築に着手	2014	文科省、スーパーグローバル大学創生支援事業開始
2016	国際大学（浦佐）との協力によりイノベ専攻学生が本学 在学中にMBAを取得できる仕組み創設 国際技学共同教育研究事業開始		
2017	日本戦略投資、新潟ベンチャーキャピタルと包括連携 総合研究棟に産学交流広場開設 （長岡ひと･みらい産業支援室、産学交流ラウンジ等）		
2018	第一回技大生パテントコンテスト授賞式 21世紀ランプ会発足		

調印式風景

産学交流広場のご紹介



■予約方法：「長岡ひと･みらい産業支援室」と「産学交流スペース」につきましては、事前にテクノインキュベーションセンター（TEL.0258-46-6038）にご予約ください。直前の予約も可能です。
■利用時間：9:00～17:00　■利用料金：無料

国立大学法人
長岡技術科学大学
Nagaoka University of Technology
〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1　TEL.0258-46-6000（代表）URL　http://www.nagaokaut.ac.jp/

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
発行日：2018年1月